

令和3年 第1回臨時会

苫小牧港管理組合議会会議録

令和3年7月6日開催

苫 小 牧 港 管 理 組 合 議 会

令和3年 第1回臨時会
苫小牧港管理組合議会

令和3年7月6日（火曜日） 午後1時38分開会

○本日の会議に付議した事件

日程第1 諸般の報告

日程第2 議席の指定

日程第3 会議録署名議員の指名について

日程第4 会期の決定について

日程第5 副議長の選挙について

日程第6 報告第1号から報告第2号について

報告第1号 予算の繰越しについて（令和2年度苫小牧港管理組合一般会計）

報告第2号 予算の繰越しについて（令和2年度苫小牧港管理組合特別会計）

日程第7 議案第1号について

議案第1号 苫小牧港管理組合専任副管理者の選任について

○出席議員（10人）

1番	赤根 広介 君	6番	佐々木 修司 君
2番	梅尾 要一 君	7番	藤田 広美 君
3番	沖田 清志 君	8番	松井 雅宏 君
4番	神戸 典臣 君	9番	矢嶋 翼 君
5番	桜井 忠 君	10番	遠藤 連 君

○説明員出席者

管 理 者	岩 倉 博 文 君
副 管 理 者	福 原 功 君
総 務 部 長	小 名 智 明 君
施 設 部 長	和 田 栄 二 君
港 湾 政 策 室 長	山 崎 直 人 君
政 策 推 進 課 長	伊 藤 充 君
総 務 課 長	阿 部 保 君
業 務 経 営 課 長	白 川 友 秀 君
計 画 課 長	京 野 勇 一 君
施 設 課 長	宇 佐 見 広 君
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	林 剛 志 君

総務課長補佐	佐藤敦史君
業務経営課長補佐	有澤博文君
施設課長補佐	岩渕泰士君

監査委員	佐藤敏君
監査委員	神山哲太郎君
監査委員事務局長	桜田齋君
監査委員事務局主幹	鍛冶貴宏君
監査委員事務局副主幹	大坂かやの君

○事務局職員出席者

事務局局長	阿部保君
庶務係長	佐藤敦史君
議事係長	上林孝治君
書記	飯塚菜摘君

○開会

○議長（遠藤 連君） これより、本日をもって招集されました令和3年第1回臨時会を開会いたします。

○開議

○議長（遠藤 連君） それでは、本日の会議を開きます。

○諸般の報告

○議長（遠藤 連君） 日程第1「諸般の報告」を行います。

監査委員より、令和2年度1月分から4月分、令和3年度4月分現金出納検査の結果の報告がありました。

既に配付しております諸般の報告に報告書の写しがございますので、後ほどご覧ください。

また、去る5月11日に、池田謙次君、岩田 薫君、木村 司君、富岡 隆君、牧田俊之君から、6月22日には太田憲之君から議員を辞職したい旨の願いがありましたので、地方自治法第126条の規定により、それぞれこれを許可いたしましたので御報告いたします。

次に、5月11日に苫小牧市議会から桜井 忠君、佐々木修司君、藤田広美君、松井雅宏君、矢嶋 翼君が、また、7月2日に、北海道議会議員から梅尾要一君が、当管理組合議員として選出をされましたので、御報告いたします。

この際お諮りいたします。

このたび新たに当管理組合議員になられた方々もいらっしゃいますので、改めて議員各位の自己紹介をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議がないようでございますので、自己紹介をお願いいたします。

赤根広介議員から順次お願いをいたします。

○議員（赤根広介君） 北海道結志会所属の赤根広介と申します。

どうぞよろしく願いいたします。

○議員（梅尾要一君） 自民党・道民会議選出の梅尾要一です。千歳市選出です。

どうぞよろしく願いいたします。

○議員（沖田清志君） 道議会、民主・道民連合の沖田でございます。

よろしく願いいたします。

○議員（神戸典臣君） 自由民主党の神戸典臣でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

○議員（桜井 忠君） 市議会、会派市民の桜井 忠でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

○議員（佐々木修司君） 苫小牧市議会、民主クラブの佐々木修司でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○議員（藤田広美君） 市議会議員、公明党の藤田広美でございます。

どうぞよろしくお願ひします。

○議員（松井雅宏君） 苫小牧市議会、改革フォーラムの松井でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○議員（矢嶋 翼君） 皆様、こんにちは。苫小牧市議会、会派・新緑の矢嶋 翼でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

○議長（遠藤 連君） 最後になりますが、道議会、自民党・道民会議の遠藤 連でございます。

よろしくお願ひいたします。（拍手）

以上をもちまして、議員各位の自己紹介を終わらせていただきます。

○管理者挨拶、特別職及び管理職員紹介

○議長（遠藤 連君） 次に、管理者から挨拶並びに管理組合の特別職の方々を、議員各位に御紹介したい旨、申し出がございましたので、これを許します。

管理者、岩倉博文君。

○管理者（岩倉博文君） 苫小牧港管理組合管理者の岩倉博文でございます。

議員の皆様方には、大変お忙しい中、本臨時会に御出席をいただいておりますことを、心から御礼を申し上げたいと思います。

当管理組合議会議員が改選されて初めての議会となりますので、一言御挨拶をさせていただきます。

私も先般北海道知事との協議の結果、引き続き当管理組合の管理者を務めさせていただくことになりました。改めてどうぞよろしくお願ひを申し上げます。

さて、国際拠点港湾であります苫小牧港は、昭和38年に開港して以来、順調に歩みを進め、今では北日本最大の港湾として確固たる地位を築き、北海道はもとより我が国の経済を支える港湾として発展を遂げてまいりました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大によりまして、物流業界全体にも大きな影響がもたらされましたが、本港におきましては、8年連続で取扱貨物量が1億トンを超え、改めてインフラにおける港湾の重要性を再認識したところでございます。

社会経済活動の先行きが極めて不透明な中、本港の新たな施策として、近年、待船解消と荷役効率化を図るため、西港区中央北ふ頭の新規岸壁の整備が進められ、また、東港区の直背後には北海道クールロジスティックスペースが稼働されるなど、地域産業の競争力強化や国の輸出成長分野の一つであります農水産品の輸出拡大が期待されているところでございます。

引き続き、海上輸送拠点として、物流効率化に向けた一層の港湾機能の強化を図っていくと

もに、東港区周文ふ頭の連続バース化による利便性向上、耐震機能の強化に向けた取組を進めるなど、将来を見据え、戦略性を持った取組を進め、北日本最大の港湾として役割を果たすべく努めてまいりたいと考えております。

皆様におかれましても、苫小牧港発展のために、さらなる御支援を賜りますようお願いをさせていただきます。御挨拶に代えさせていただきます。

続きまして、私から管理組合の特別職を紹介させていただきます。

まず、非常勤の副管理者であります苫小牧市副市長の福原 功でございます。

もう一人の非常勤副管理者であります柏木文彦北海道総合政策部交通企画監は、本日所用のため欠席させていただいております。御了承いただきたいと思います。

次に、監査委員を紹介させていただきます。

北海道から選出されております代表監査委員の佐藤 敏監査委員でございます。

同じく苫小牧市選出の神山哲太郎監査委員でございます。

以上で、紹介を終わらせていただきます。

どうぞよろしく願いをいたします。（拍手）

○議長（遠藤 連君） 次に、副管理者から管理職員の紹介をお願いいたします。

副管理者、福原 功君。

○副管理者（福原 功君） では、私から、当管理組合の管理職員を紹介させていただきます。

総務部長の小名智明でございます。

施設部長の和田栄二でございます。

港湾政策室長の山崎直人でございます。

政策推進課長の伊藤 充でございます。

総務課長の阿部 保でございます。

なお、総務課長は、議会事務局長を兼務しております。

業務経営課長の白川友秀でございます。

計画課長の京野勇一でございます。

施設課長の宇佐見 広でございます。

会計管理者兼出納室長の林 剛志でございます。

総務課長補佐の佐藤敦史でございます。

なお、総務課長補佐は、議会事務局庶務係長を兼務しております。

業務経営課長補佐の有澤博文でございます。

施設課長補佐の岩渕泰士でございます。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（遠藤 連君） 次に、代表監査委員から、監査委員事務局の管理職員の紹介をお願いいたします。

代表監査委員 佐藤 敏君。

○監査委員（佐藤 敏君） では、私から、監査委員事務局の管理職員を御紹介させていただきます。

監査委員事務局長の苫小牧市監査委員事務局長 桜田 斎でございます。

監査委員事務局主幹の苫小牧市監査委員事務局主幹 鍛冶貴宏でございます。

監査委員事務局副主幹の苫小牧市監査委員事務局副主幹 大坂かやのでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠藤 連君） 以上をもちまして、それぞれの紹介を終わります。

○議席の指定

○議長（遠藤 連君） 日程第2「議席の指定」を行います。

議席は、会議規則第3条第1項の規定により、ただいま御着席の議席を指定いたします。

○会議録署名議員の指名

○議長（遠藤 連君） 日程第3「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、赤根広介議員及び梅尾要一議員を指名いたします。

○会期の決定について

○議長（遠藤 連君） 日程第4「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

この際、暫時休憩いたします。

午後1時50分 休憩

午後2時03分 再開

○副議長の選挙について

○議長（遠藤 連君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第5「副議長の選挙について」お諮りをいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によること

とし、指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(遠藤 連君) 御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることとし、議長において指名することに決しました。御指名を申し上げます。

副議長に、矢嶋 翼議員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました矢嶋 翼議員を、副議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(遠藤 連君) 御異議なしと認めます。

よって、矢嶋 翼議員が苫小牧港管理組合議会副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました矢嶋 翼議員が議場におられますので、本席から、会議規則第27条第2項の規定により、当選の告知をいたします。

それでは、副議長に御挨拶をお願いいたします。

○副議長(矢嶋 翼君) ただいま名誉ある副議長に御推選をいただきました矢嶋でございます。

私は苫小牧生まれ、苫小牧育ちでございます。

苫小牧港は、昭和38年に開港いたしました。築港は昭和26年でございます。私もその年に生まれておりますので、私の人生と、この苫小牧港の流れが一緒に、掘り込みが始まったところも見ながら私も育ってまいりました。

若い方にぜひ就任していただけたらと思っておりましたけれども、年長ということもあり、御推薦をいただきました。

遠藤議長の足を引っ張らないよう、皆さんのお力をいただきながら、私たちの大切なこの苫小牧港をますます発展させ、全国からも苫小牧港すごいねと、言われるように私は個人的に思っているところでございます。

皆様方の御協力をいただきながら、何とか私の職務を全うしていきたいと思っているところでございます。2年間でございますけれども、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

本日はよろしく願いいたします。皆さん、どうもありがとうございました。(拍手)

○報告第1号 予算の繰越しについて

○報告第2号 予算の繰越しについて

○議長(遠藤 連君) 次に、報告第1号及び第2号「予算の繰越しについて」を一括して議題といたします。

説明を求めます。

総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 報告第1号及び報告第2号「予算の繰越しについて」を御説明申し上げます。

初めに、報告第1号「一般会計予算の繰越し」について御説明申し上げます。

議案等の1ページを御覧ください。

この繰越明許費につきましては、令和2年度に予算配分された社会資本整備事業の実施に当たり、令和3年第1回定例会において、総額1億6,500万円の繰越明許費の設定の議決をいただいたところでございますが、このたび繰越額が1億6,150万円に確定したものでございます。

続きまして、報告第2号「港湾整備事業特別会計予算の繰越し」についてです。

議案等の7ページを御覧ください。

この繰越明許費につきましては、令和2年度に予算配分された荷役機械健全度診断事業の実施に当たり、令和3年第1回定例会において、総額1,776万5,000円の繰越明許費の設定の議決をいただいたところでございますが、このたびに1,776万5,000円に確定したものでございます。

以上、報告第1号及び報告第2号につきまして、地方自治法施行令第146条第2項の規定により御報告申し上げます。

○議長（遠藤 連君） これより質疑に入ります。

ただいまの説明に関し、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 質疑がなければ、本件は終了いたします。

○議案第1号 苫小牧港管理組合専任副管理者の選任について

○議長（遠藤 連君） 次に、日程第7、議案第1号「苫小牧港管理組合専任副管理者の選任について」を議題といたします。

説明を求めます。

管理者、岩倉博文君。

○管理者（岩倉博文君） 議案第1号「苫小牧港管理組合専任副管理者の選任」につきまして、御説明をいたします。

当管理組合の専任副管理者でありました佐々木秀郎氏は、7月5日をもって辞職をいたしました。

その後任者につきまして、平澤充成氏を苫小牧港管理組合規約第12条第2項の規定により選任したいと考えておりますので、御同意を賜りますよう、よろしくお願いをいたします。

以上です。

○議長（遠藤 連君） これより質疑に入ります。

ただいまの説明に関し、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） なければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、反対、賛成の討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） なければ、これをもって討論を終結いたします。

それでは、議案第1号についてお諮りをいたします。

議案第1号を原案のとおり、同意することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり、同意することに決しました

○閉会

○議長（遠藤 連君） 以上をもちまして、本議会に付議された案件は全て議了いたしました。

閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本議会に付議されました案件は、報告2件、議案1件であります。皆様方の御協力によりまして、滞りなく議了いたしましたことに、議長として厚く御礼を申し上げますとともに、議員各位の熱心な御審議を得ましたことに、重ねてお礼を申し上げます。

これをもちまして、令和3年第1回臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでございました。

（了）

午後2時15分 閉会

○新専任副管理者挨拶

○議長（遠藤 連君） なお、ここで管理者から、先ほど選任をされました専任副管理者の紹介がございます。

○管理者（岩倉博文君） それでは、私から御紹介をさせていただきます。

このたび、専任副管理者に選任されました平澤充成さんです。どうぞよろしくお願いをいたします。（拍手）

○専任副管理者（平澤充成君） ただいま御紹介いただきました平澤でございます。

苫小牧港管理組合の専任副管理者に就任するに当たりまして、一言御挨拶させていただきます。

私は、平成20年1月までこちらの施設部長をさせていただいておりましたので、約13年ぶ

りに苫小牧港管理組合で働かせていただくことになりました。

私から申すまでもございませんが、この苫小牧港、苫小牧市、あるいはその周辺に限らず、北海道の経済・産業を支え、また、市民生活を支える国際拠点港湾でございます。

ただいまのこの昨今のコロナ禍の中におきまして、この厳しい経済情勢、社会情勢を考えますと、それを支えていく役割というのは、ますます大きくなっているのではないかと感じております。

苫小牧港を管理運営するこの管理組合の専任副管理者という任をいただきますと、このような機会をいただいたことにつきまして、本当に心から誇りを感じておりますし、同時にその任の重要性に非常に身が引き締まる思いを感じております。

しかしながら、やはりこの任につく以上は、しっかりとこれまで私の培ってきた知識、経験を全て継ぎ込み、管理組合の職員とともに、管理者である岩倉市長を支えて、この苫小牧、北海道、さらには将来、未来づくりに苫小牧港が貢献していけるように努力をしていきたいと考えております。

ただ、やはり管理組合だけではできない仕事、課題解決すべきものも多いと思います。遠藤議長を初め、議員の皆様方、また、苫小牧港を利用させていただいている利用者の皆様、そのほか関係する方々としっかり意見交換をしながら仕事を進めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

簡単でございますが、私の就任の挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。（拍手）

○議長（遠藤 連君） それでは、私からも議長の立場で一言申し上げたいと思います。

専任副管理者に選任をされました平澤さんにおかれましては、ただいまの御挨拶にもございましたように、過去においてこの苫小牧港管理組合に勤務された経験をお持ちでございます。

その経験を生かして今後の仕事に反映をさせていただくと同時に、これまで培われた様々な知見、あるいはネットワークなどを十分に生かされて、この苫小牧港の発展のために存分に取り組んでいただきますように期待をいたしたいと思います。どうぞよろしく願いをいたします。

それでは、以上をもって終了させていただきます。

御苦労さまでした。

上記のとおり会議の次第を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

苫小牧港管理組合議会

議 長	遠 藤 連
署名議員	赤 根 広 介
署名議員	梅 尾 要 一